

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 17 日 (2005.11.17)

【公開番号】特開 2001-278849 (P2001-278849A)

【公開日】平成 13 年 10 月 10 日 (2001.10.10)

【出願番号】特願 2000-89157 (P2000-89157)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 7 C 231/02

C 0 7 C 233/75

C 0 7 C 237/42

G 0 3 C 1/43

G 0 3 C 7/392

【F I】

C 0 7 C 231/02

C 0 7 C 233/75

C 0 7 C 237/42

G 0 3 C 1/43

G 0 3 C 7/392 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 28 日 (2005.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 6】

実施例 1 ベンゾイルアミノハイドロキノン (1 5) の合成

2 , 5 - ジメトキシアニリン 1 5 . 3 g に 4 8 % 臭化水素酸水溶液 4 6 ml を加え、1 5 0 のオイルバス上、窒素気流下にて 2 4 時間加熱、攪拌した。N M R にてメトキシ基のピークが消失したことを確認した後、反応系を室温に冷却した。酢酸エチル 5 0 m l を加え、よく攪拌しながら、炭酸ナトリウムの 1 水和物 2 2 . 0 g を少しずつ添加した。さらにベンゾイルクロリド 1 4 . 1 g 及び 1 0 % 炭酸水素ナトリウムを約 4 5 分かけて同時滴下した。1 0 % 炭酸水素ナトリウム水溶液の滴下量は反応系内の p H が 2 - 5 に保たれるように調節した。滴下終了後、約 2 0 分攪拌した後、析出した結晶を濾過し、酢酸エチル及び水にて結晶を洗浄した。室温にて一晩乾燥した。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 5】

実施例 2 例示化合物 (6 7) の合成

実施例 1 において、ベンゾイルクロリドを等モルの 3 , 5 - ジ - (ヘキシルデカノイルアミノ) ベンゾイルクロリド 2 5 % キシレン溶液に、炭酸水素ナトリウムを酢酸ナトリウムに置き換える以外は同一の方法で反応を行なった。